



学校だより
【1月7日号】

校長室より⑳ 3学期始業式

2学期終業式に、古くから日本に伝わる習わしや日本の文化にしっかりふれましょうと子どもたちに話しました。1月7日に聞いてみると大掃除に参加した子、年越しそばを食べた子、初詣に行った子、書き初めをした子等それぞれこの時期にしか味わえないことを経験していました。

もう一つ十二支にまつわるお話をしました。十二支の動物を何にするか、指定した日にお釈迦様に挨拶に来た順番で決めることになりました。牛は歩くのが遅いので、他の動物よりも早く出発しました。しかし、一番乗りしたのは、牛の背中に乗っていた鼠でした。鶏が猿と犬の間にいるのは仲の悪い者の間に入ったと言われていいます。猫が十二支に入っていないのは、鼠が猫にお釈迦様にあいさつに行く日を嘘をついて一日遅く教えたので十二支に入ることができませんでした。そのことを根に持った猫は、それ以来鼠を追いかけるようになりました。」そして、今年の干支は牛。丑年の人は、5年生と6年生の中にいます。教職員にも2人います。

牛は、古くから酪農や農業で人々を助けてくれる存在として重要な生き物でした。大変な農業を地道に最後まで手伝ってくれる様子から丑年は、我慢や発展の前触れの年になるといわれています。また、丑年の人は、規則や伝統をきっちり守り、一度始めると最後までやりきらないと気が済まない努力家が多く、働き者が多いといわれています。

新しい年を迎える時には、気持ちも新たにエネルギーが湧いてくる時です。

今年もオールそうじゃ ONE TEAMとなって目指すは やさしい子 たくましい子 すすんで学ぶ子です。特に3学期はすすんで学ぶ子を意識して生活したいと思います。

学ぶ…勉強はもちろんですが、話の聞き方、集合の仕方、登下校の仕方 ろうかの歩き方等たくさんの学びがあります。牛の年にふさわしく規則や伝統をきっちり守り、一度始めたことは、最後までやりきる気概をもってがんばっていきたいと思います。

校長室より㉑ 保護者、地域の皆様へ

あけましておめでとうございます

旧年中は、目まぐるしく状況が変わる中、保護者、地域の皆様には、常に柔軟に対応していただきありがとうございました。平常を取り戻すには、まだまだ時間を要しそうですが、今の私たちができること(マスク着用、手洗い、換気等)をきちんとみんなでいながら充実した3学期にしていきたいと思っています。逆境に立たされることもあるかもしれませんが、オールそうじゃ オール…子どもたち、保護者、地域、教職員がONE TEAMとなって全てのことに全員で全力で立ち向かっていきたいと思います。3学期も引き続きよろしくお願ひいたします。

